

1, 法人の教育目標

「明るく 正しい 賢い子」を建学の精神とし、「遊びの中・生活の中での言語」を教育の目標として日々の保育に取り組む。

本法人では目指す幼児像を体現するため次の5項目を活用する

1, 心の教育 2, 音感教育 3, 自然教育 4, 言語教育 5, 体育遊び

2, 法人の運営する学校及び施設

- 1, 木津幼稚園（幼保連携型認定こども園）
- 2, 公私連携幼保連携型認定こども園学園台こども園（幼保連携型認定こども園）
- 3, 子育て支援センター「smile」（地域子育て支援拠点事業）
- 4, 小規模保育園リトルディッパーナーサリー（小規模保育園A型）

3, 本年度に定めた重点的に取り組む事が必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

乳幼児教育の強化

保育教諭要員の強化補充

ドキュメンテーションを使った教育保育の示し方の研究

4, 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
教育課程を幼稚園教育要領や保育所保育指針を踏まえ、園の教育理念教育方針に従い編成している	幼児期の教育を実践すべく遊びの中の学びや生活の中の学びに注力する。国際的観点からも日本の幼児教育で行われる環境を通した教育が見直される中、どのような取り組みが子どもたちの育ちにつながる事なのかを示していく。
教育要領、教育課程を子どもの実態などをもとに考えて作成しているか	子供が負担を感じることなく無意識のうちに向上できる手法として漢字・英語その他のアクティブラーニングを行っている。見える化研修を行い、ドキュメンテーションを通して外部へ教育保育の内容を示す土台を作った。
乳幼児教育の強化	法人90周年を迎え、各施設がどのような観点で教育保育をしているかを周知する事で、乳児期にも教育的環境を設置する事が可能だという事を内外に示す。
職員の評価制度を見直しより良いものにする	個人評価表を見直し、オンライン回答をできるようになり、管理を一元化した。さらに設問数を減らし、回答に時間を要さないよう工夫をした。
教職員の募集の工夫	「産休代替」や「育休代替」など短期間で仕事をする選択して入職

	するパート職員の応募はなく、安心してプライベートを充実してもらう環境とは言えない。保育補助員の雇い入れと保育補助員の雇い入れの補助を獲得することで少し解消した。
法人の畑の利用を見直し食育を通して子どもたちの健全育成にもつなげる	例年焼き芋用の芋は購入をしていたが、昨年から殺虫剤を規定量以下ではあるが少量入れて虫食いを減らし、園の畑で収穫できた芋で焼き芋を実行することができた。苺を苗採りから更新する事を数年続けることができ、毎年いちご狩りを楽しむことができている。スナップエンドウ、オクラは沢山収穫できたが夏野菜は猛暑の為か不調。
園の財務状況を積極的に公開する	公認会計士より適正に処理されているとの報告を受けている。令和7年度会計も昨年ほどではないが年度末に臨時昇給を行うことができた。ベースアップを行い教員募集の一助にしたい。
防犯管理	R6/1/1 能登沖地震があり、毎月行っている避難訓練もさらに真剣に、場面を想定しながら全員で確認しあい、子供たちを守る姿勢がみられる。LDに110番ボタンの設置する事が出来た。

5, 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	90周年記念行事の中でドキュメンテーションを行い、法人の教育内容を外部に示すことができ、最年長児の音楽発表や、カラーガードなど育ちの体現を見てもらう事が出来た。また、例年ではない行事を行い、法人職員全体で一つの行事に取り組む事が出来、結束力が強くなった。

6, 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
危険個所の排除	木津幼稚園畑に危険なブロック塀があるため、更新を行いたい。 学園台こども園のエアコンがおおよそ更新時期となっているため毎年かほく市に更新をお願いしている。
ICT化の強化	R7年度にICT補助を受けることができ、各クラスにパソコンを配置する事が出来た。有効な使い方ができるようアイデアを出せる環境にしたい。
病児保育体調不良児型の事業開始	病児保育体調不良児型の事業を開始する事をかほく市に告げ、環境整備を始める。実現すればすでに配置されている学園台とLDの看護師を専任化でき、もう一人ずつ保育教諭を配置する事が可能になり、処遇改善につながる。

7, 学校関係者の意見

(職員) (優) 良 可	(学園理事会) (優) 良 可
(学園評議委員会) (優) 良 可	(保護者代表) (優) 良 可